

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、授業の中で教科書以外の文章に触れ、内容を考える時間を多く設定していることもあり、「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」といった読むことの設問で全国平均よりも高い正答率でした。また、話し合い活動を積極的に行っていることから、「話し合いの方向や話題を捉える」設問で90.4ポイントと高い正答率でした。数学では、グラフデータの傾向を捉えて説明をしたり、事象を数学的に解釈し解決法を数学的に説明したりする問題において全国平均より高い正答率になりました。これは繰り返し問題に取り組むことや、話し合い活動で説明をし合う活動を取り入れた成果だと考えています。

平成29年度から、「自分の考えをもち表現しあえる生徒の育成」をテーマに、学び合い学習を大切にする指導を教育活動全般で継続しています。その成果が学習面の成長につながっていると考えられます。また、質問紙調査の結果からは、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒が80.1ポイントおり、全国平均と比較しても高いことが分かりました。授業での学び合い学習の取組が、結果に反映されたものと思われます。

課題と対応

国語では「言語についての知識・理解・技能」の正答率がやや低いことから、文脈の中における語句の意味を理解する力が弱いと言えます。今後は言葉を適切に使えるように、日常的に知らない言葉が出てきたら調べるといった「言葉にこだわりをもつ」ことを意識させながら国語の力を育てていきたいと考えています。

数学では図形の分野を苦手としている生徒が多いです。図の中にある等しい角からどの辺とどの辺が平行になるかを見付けたり、角度の大きさを求めたりする問題が全国平均より低い正答率でした。そのため、ICT等を活用しながら意欲を高め、理解を深めていきたいと考えています。

家庭学習では、平日2時間以上学習している生徒は46.3ポイントと高いものの、自分で計画を立てて学習している生徒の割合は1年次や2年次より低下し、58.9ポイントでした。家庭学習の充実のために自ら目的をもって取り組む課題を各教科で設定しています。また、芳泉中学校独自の生活ノート（チャレンジ芳泉ノート）も活用し、主体的に学習に取り組める生徒を増やしていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

メディアの利用については、1日当たり3時間以上使用している生徒の割合が、全国平均と比較して高いことが分かりました。中学校では、定期考査前にノーメディア週間を設定し、家庭でのルール作りを啓発し、適切なメディアの利用方法を考えていきたいと考えています。ご家庭でも健全な利用につながるよう日々の声掛けをよろしくお願ひします。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して、肯定的に答えた生徒の割合は50ポイントを下回っていました。現在、感染症対策のため、多くの行事が中止となっていることが原因と考えられます。学校では、可能な限り、学校と家庭・地域が連携して地域行事への積極的な参加を促していきたいと考えています。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	文脈に即した漢字の読み書きが正しくできる。
	社会	我が国の政治や歴史について理解することができている。
	数学	公約数など整数の性質について理解することができている。
	理科	動物のからだのつくりと働きについて理解することができている。
	英語	まとまった英語を聞き取り、英文を並び替えたり答えたりすることができる。
	学習状況	規則正しい起床・就寝ができている生徒が多い。
第2学年	国語	文脈に即して漢字を正しく読むことができる。
	社会	ヨーロッパ州の地域統合について理解している。
	数学	展開図の重なる点について答えることができる。
	理科	メスシリンダーの目盛りの読み方を理解している。
	英語	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。
	学習状況	家の人と学校での出来事について話をしている生徒が多い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文学作品の場面背景の理解や登場人物の心情把握に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を書くことや、資料からの読み取り等、知識を活用して解答することに課題がある。 ○学び合い学習を通して、ペアやグループでの活動の工夫をしていき、聴く力や伝える力を身に付けさせたい。 ○学習した知識を活用できるような場面を各教科で多く設定していきたい。 ○学習状況については、家で学校の宿題をしている生徒の割合が多い一方、平日でのゲームの時間が多く、休日の勉強時間は少ない傾向にあるので、情報教育やノーメディアチャレンジなどを生かしてメディアとの付き合い方を主体的に考えていけるようにしたい。
	社会	国土や産業についての思考力・判断力について課題がある。	
	数学	体積や線対称など、図形についての理解に課題がある。	
	理科	複数の情報を関係付けながら分析して考察することに課題がある。	
	英語	位置、時刻、動作などを表す基本的な英文の理解に課題がある。	
	学習状況	平日ゲームやインターネット（勉強を除く）を1時間以上する生徒の割合が高い。	
第2学年	国語	自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように話すことに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○知識を活用して解答する問題に課題がある。また、基礎的・基本的な知識も習得できている分野とできていない分野の差が大きいことも課題の一つである。 ○授業において自分の考えを書いたり、説明したりする発問を増やしたい。 ○基礎的・基本的な知識定着のために小テストを実施したい。 ○根拠を基に自分の考えを書く「200字意見文」を定期的に実施したい。 ○ノーメディアチャレンジなどを通じて、メディアの使用について保護者とともに考える時間をとり、きちんとルールを決めてメディアを使用できるようにしたい。
	社会	摂関政治について考え、説明することに課題がある。	
	数学	表から反比例の式をつくることに課題がある。	
	理科	マグニチュードや震源の深さと震度の大きさの関係についての理解に課題がある。	
	英語	語形・語法を理解することに課題がある。	
	学習状況	平日ゲームやインターネット（勉強を除く）を2時間以上する生徒の割合が高い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

課題に関する関心度(提出状況・作業内容)について昨年度と比較すると、二極化が散見されます。課題に真摯に取り組むことは学力定着に不可欠であり、今後、課題への取り組み方を見直す必要があると考えられます。頑張る気持ちをもちながらも、その目的や方法をうまく見つけられず、実力が出せないでいることも少なくありません。今年から導入された新しい学習指導要領の考え方や、子どもたちが学校で学んでいることに関して、子どもと話したり一緒に考えたりしてみてください。皆様の働きかけが力になります。よろしくお願ひいたします。